

聖書箇所：創世記 22：1～12、マルコ 14：35, 36

メッセージタイトル：「信仰と従順」

テーマ：最愛のひとり子イサクを神の命令に従って捧げようとしたアブラハム。その父に絶大な信頼を置いて従いきったイサク。この親子の全き信頼関係に予表される父なる神と子なる神（イエス・キリスト）の信頼と従順。アブラハムとイサク、そして父なる神とイエス・キリストの間に見られる信仰と従順は私たちに何を語っているのか。

はじめに：

◎アブラハム（かつてはアブラム）という人物について

- ・ 出身地—カルデア人のウルという町（現在のイラク）
- ・ 親族—父テラ、妻サライ（のちのサラ）、甥ロト
父のテラとサラやロトと共にウルを出たが、テラはカランで死んだ。
- ・ 75歳/神のお告げに従って、神の示す地に向かって出発した。サラもロトも一緒。エジプトでの失敗、ロトとの別れ。
子供のいないアブラハムに対する神の約束（あなたの子孫は空の星のようになる）——アブラハムは神の約束を信じて「義」と認められた。
- ・ 86歳/女奴隷ハガルとの間にイシュマエルが誕生。（人間の計画による子）
- ・ 99歳/ 神の御告げ（サラとの間に約束の子が与えられる）、割礼を受ける。
- ・ 100歳/サラ（90歳）との間にイサク誕生（神の約束の子）
- ・ 試練——約束の子イサクがすくすく成長していく幸せの中での人生最大の試練 「イサクを捧げよ」との神の命令

◎イサクという人物について

- ・ 「イサクをささげよ」と神がアブラハムに命じられた時のイサクの年齢はいくつぐらいだっただろうか。私たちはなんとなく幼子のイメージを持っているが、この記事の前後関係や英語の聖書に使われている「lad」という言葉から、立派な若者に成長していたと思われる。

本論：

◎アブラハムの信仰

- ・ 神の約束を信じ従った生涯（失敗もあったが）
- ・ イサクを捧げよと命じられた時のアブラハムの対応
- ・ イサクの成長過程において、彼に絶えず神の恵みと約束を語り聞かせていたと思われる。
- ・ イサクを捧げようとしたとき、アブラハムの心の中ではイサクはすでに死んだと同じ。

◎イサクの信仰

- ・ 父アブラハムから神の与えて下さった素晴らしい約束と、自分が生まれて来た経緯を

絶えず聞かされていたと思われる。(両親からの信仰教育)

- ・神に従順に従う父を尊敬し、父を通してイサク自身も神を信頼する者に成長していた。
(モリヤの山に向かう途中の親子の会話から窺い知ることができる)
- ・自分自身が神への捧げものだと分かった時点でも、イサクは騒ぎもせず、逃げもせず、父アブラハムにすべてをゆだねている。

では、このアブラハムとイサクの信頼関係の中に予表されている父なる神と御子イエス・キリストの関係を見てみよう。

◎イエス・キリストの従順

- ・イエスは「わたしが天から下って来たのは、自分のところを行なうためではなく、わたしを遣わした方のみところを行なうためです」(ヨハネ 6:38) と、いかなるときにも父なる神のみところに徹底的に従うと告白された。
- ・イエスのご自分が人として地上に遣わされた目的をはっきり自覚しておられた。
- ・その生涯を通して、父なる神への従順を貫き通され、実に十字架の死にまで従われた。

◎父なる神の痛みとアブラハムの痛み

- ・イエスが十字架にご自身を捧げたとき、父なる神はどんな痛みを覚えておられたことか。アブラハムがイサクを捧げたときと同じ、張り裂けんばかりの悲しみを感じておられたであろう。

◎取り戻されたイサクとよみがえられたイエス

- ・アブラハムの心の中ではすでに死んだも同然であったイサクを、神は取り戻させてくださった。アブラハムの手元に返されたイサクはもはや以前のイサクではない。新しいイサクと言うべきか。(私たちがイエスと共に死んで新しいのちにあるように)
- ・十字架にかかって死なれたイエスを、父なる神はよみがえらせてご自分の手に取り戻されたのである。

結論：

遠い時代のアブラハムとイサクの信仰と従順が、神の遠大なご計画の中で、救い主イエスの系譜につながる大切な要素となっている。彼らの信仰と従順が、イスラエルという民族を誕生させ、その中のユダ族、さらにダビデの家系から救い主が与えられるという、神の約束の重要なスタートラインになっている。彼らの信仰がなければ救い主誕生につながらなかったと考えられるのだ。そして、イエス・キリストの父なる神への徹底的信頼と従順が、私たちに救いをもたらしたのだ。

では、今、イエス・キリストに対する私たちの信仰と従順はどんな意味を持つのか。アブラハムとイサクの信仰が、のちの私たちに素晴らしい救いを与える大切なステップとなったように、私たち一人一人の信仰と従順が、神のこれからのご計画の歯車を動かし、素晴らしい実を生み出させて下さるのだ。どんなに私たちがちっぽけな存在であっても、私たちの信仰と従順を主が待っておられるのだ。あなたの従順なくして、神のご計画は進まない。主に信頼し、従う人生の素晴らしさを、ダイナミックに体験させて頂こう。